



# JFRL 情報宅配

## \* 農林水産省 \* (<http://www.maff.go.jp/>)

### 1. [「食育に関する意識調査」結果及び「食育推進基本計画」の公表] (令和3年3月31日 消費・安全局消費者行政・食育課)

- ・令和2年度「食育に関する意識調査」の結果を公表します～新型コロナウイルス感染症の拡大で、特に若い世代の食生活に変化～

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/210331.html>

- ・新たな「食育推進基本計画」の公表について

[https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/210331\\_35.html](https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/210331_35.html)

### 2. [米に関するマンスリーレポート (令和3年4月号) の公表について] (令和3年4月9日 政策統括官付農産企画課)

米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート (令和3年4月号)」について取りまとめました。

[https://www.maff.go.jp/j/press/seisaku\\_tokatu/kikaku/210409.html](https://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/kikaku/210409.html)

## \* 厚生労働省 \* (<https://www.mhlw.go.jp/>)

### 1. [令和3年度輸入食品監視指導計画の策定について] (令和3年3月26日 生食発0326第1号 大臣官房生活衛生・食品安全審議官)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000200505\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000200505_00003.html)

### 2. [食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について (オキサゾスルフィル, カルタップ, チオシクラム及びベンスルタップ, チルジピロシン, フェンヘキサミド, プロヒドロジャスモン, フロメトキン)] (令和3年3月26日 生食発0326第4号大臣官房生活衛生・食品安全審議官)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000760355.pdf>

## \* 消費者庁 \* (<https://www.caa.go.jp/>)

### 1. [「機能性表示食品の届出等に関するガイドライン」及び「機能性表示食品に関する質疑応答集」の一部改正について] (令和3年3月22日 消食表第120号)

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/foods\\_with\\_function\\_claims/notice/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/notice/)

機能性表示食品に関する質疑応答集(令和3年3月22日一部改正)

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/foods\\_with\\_function\\_claims/assets/foods\\_with\\_function\\_claims\\_210322\\_0004.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/assets/foods_with_function_claims_210322_0004.pdf)

(別紙)新旧対照表

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/foods\\_with\\_function\\_claims/assets/foods\\_with\\_function\\_claims\\_210322\\_0005.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/assets/foods_with_function_claims_210322_0005.pdf)

### 2. [特定保健用食品制度(疾病リスク低減表示)に関する今後の運用の方向性の公表について] (令和3年3月30日)

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/023679/>

### 3. [「特別用途食品の表示許可等について」の一部改正について] (令和3年3月29日付け 消食表第125号)

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/foods\\_for\\_special\\_dietary\\_uses/notice/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_for_special_dietary_uses/notice/)

(申請に関する通知)

### 4. [加工食品の原料原産地表示制度] (令和3年3月31日 食品表示企画課)

- ・令和2年度 新たな加工食品の原料原産地表示制度等に係る表示実態調査事業

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/information/research/2020/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2020/)

- ・「全ての加工食品に原料原産地を表示する必要があります!」〈チラシの公表について〉

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/quality/country\\_of\\_origin/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/quality/country_of_origin/)

主に事業者の方向けの情報

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/quality/country\\_of\\_origin/assets/food\\_labeling\\_cms202](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/quality/country_of_origin/assets/food_labeling_cms202)

5. [食品添加物表示に関するマメ知識(消費者向け)の公表] (令和3年4月8日 食品表示企画課)  
[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/food\\_sanitation/food\\_additive/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_sanitation/food_additive/)

**\* 今月のトピックス \***

**[日本食品標準成分表2020年版(八訂)について]**

日本食品標準成分表2020年版(八訂)は、給食事業等のほか、栄養成分表示をする事業者や個人の食事管理におけるニーズの高まりに応えるため、調理済み食品の情報の充実、エネルギー計算方法の変更を含めて全面改訂がされたものです。今回の改訂の主な特徴は以下の3点です。

- ① 七訂追補等によるデータの追加及び修正の反映
- ② エネルギー算出方法の変更
- ③ 調理済み流通食品の情報の拡充



これらの特徴のうち②は大きな変更点として注目されています。

エネルギー値の科学的推計の改善を図るため、これまで食品毎に修正Atwater係数等の種々のエネルギー換算係数を乗じて算出していたエネルギーについて、FAO/INFOODS\*が推奨する組成成分を用いる計算方法が導入されました。

従来、食品のエネルギーの算出基礎としてきた、エネルギー産生成分のたんぱく質、脂質及び炭水化物は、以下のように、原則として対応する組成成分に変更され、各組成成分に乗ずるエネルギー換算係数も変更になりました。

- たんぱく質 ⇒ アミノ酸組成によるたんぱく質
- 脂質 ⇒ 脂肪酸のトリアシルグリセロール当量
- 炭水化物 ⇒ 利用可能炭水化物、食物繊維総量、糖アルコール、有機酸

この新たなエネルギー算出方法により、多くの食品についてはそのエネルギー値は低くなりましたが、一部の食品では、エネルギー値が高くなったものもあります。例えば、「きのこ類」及び「藻類」が当たります。これは、従来エネルギー算出において採用されていた、Atwater係数で求めた値の0.5倍をエネルギー値とするという項が廃止されたためです。このため、エネルギー値が高く算出されました。

また、多くの方々が、食品表示法の栄養表示についての関係に混乱されているとも伺いますが、食品表示基準の栄養成分表示におけるエネルギー値につきましては、今のところ変更はございません。従来通り消費者庁が定める食品表示基準に定められた方法で算出をお願いいたします。

最後になりますが、弊財団では、成分表2020年版(八訂)に基づく各種栄養成分及び新規に採用されましたエネルギー算出のための分析を承っております。成分表2020年版(八訂) 掲載エネルギー値との比較など、エネルギー値をお求めの際は是非ご利用ください。

\* : FAO/INFOODS : 国連食糧農業機関及び食品データシステムの国際ネットワーク

**【参照ホームページ】**

- ・ 日本食品標準成分表2020年版(八訂) [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/syokuhinseibun/mext\\_01110.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html)
- ・ FAO/INFOODS <http://www.fao.org/infoods/infoods/en/>
- ・ 食品のエネルギー値の算出方法についての検討：組成に基づく方法と従来法との比較  
[日本栄養・食糧学会誌 第73巻 第6号 255-264(2020)]  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsnfs/73/6/73\\_255/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsnfs/73/6/73_255/_pdf)

内容についての問合せ、配信アドレスの変更・追加配信希望・配信停止はHPのお問合せよりお願いいたします。<https://www.jftrl.or.jp/contact/create>

配信元：一般財団法人日本食品分析センター (<https://www.jftrl.or.jp/>)